

- (法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

2020 年度の事業報告書

2020 年4月1日から2021 年3月31日まで

認定NPO法人 a c c o m m o n

I 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 座談会事業 (TSUDOI)

毎月1回の座談会「TSUDOI」を開催した。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、オンライン (meet、zoom) と対面を併用して開催した。事務所で開催する場合は、定員を設けた上でパーティションを設置し、小グループで行った。盛岡市以外の遠方からの参加があったり、自宅から保護者と子どもと一緒に参加することができたりと、オンライン開催ならではの参加の広がりが見られた。

7月3日(金)にはオンラインで親子の夜のTSUDOIを開催した。画面越しにそれぞれの顔を見せ合い、子どもたちの好きなものも見せ合い、交流した。直接会うことができない中でも繋がりを感ずることができた。

② 勉強会事業

■ 勉強会・ワークショップ

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、感染対策を整えオンラインを軸に勉強会 (テーマ座談会) とワークショップを開催した。

7月21日(火)のオンラインテーマ座談会では、外部の協力を得ながら、「自己理解」をテーマにした勉強会を開催した。座談会の形式で参加者のハードルを下げた結果、多くの参加者が活発に発言し、意見を交わすことができた。

3月10日 (水) には、これまで継続してきた「学校との連携」ワークショップをオンラインで開催した。県外からや、保護者だけでなく支援者の参加もあった。今年度発行した「学校・園との連携ガイド」には掲載されていない、今現在直面している事例も多く挙げられ、連携ガイドを磨き上げていく重要性を再確認した。

■ ペアレント・トレーニング

新型コロナウイルスの影響で中断していた、会員向けの全8回のペアレント・トレーニングを7月に再開した。再開分はアイーナ会場にて十分に距離を取りセッションを行った。11月以降新規の申込者については新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、グループセッションではなく個別のセッションで行った。

■ 「学校・園との連携ガイド」出版・販売（勉強会付帯事業）

平成30年度から継続してきた「学校との連携」についての勉強会・ワークショップの内容に、保護者からの情報も加えてまとめ、「学校・園との連携ガイド（2020年 岩手県版）」を発行した。冊子版とPDF版の販売を行った。保護者だけでなく、支援者からも購入申し込みがあり、年度内に2回増刷した。

③ 学習支援事業

■ まなびのHIROBA

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、親子での学習支援活動を集まって開催することは控えた。イオンのギフトカードで購入した文具や知育玩具、創作材料などを各家庭に配布し、作製したものを会員内SNSでシェアすることを今年度の活動とした。これを機に親子で一緒に取り組むことができた例の他、シェアされた作品の写真が刺激となり新しいことにチャレンジした子どもや、SNSで寄せられたコメントがきっかけで、得意なことにさらに習熟し、応用した作品を作製した子どももいた。

■ ガイドブックの販売（まなびのHIROBA付帯事業）

NPO法人Hahato・co盛岡支部で作成したガイドブック「こんなことあるかな？こうしてみよう！」を寄付金付きグッズとして販売した。

■ 作品の販売（まなびのHIROBA付帯事業）

昨年度は、まなびのHIROBAで作製した子どもたちの作品をアイーナの復興応援バザーに出品し、売り子として販売の手伝いをする体験や自分の作品が購入される体験も提供してきたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、アイーナの復興応援バザーが開催されなかった。そのため、ホームページや事務所の一画で子どもたちの作品を販売し、作製した子どもたちには好きな景品と交換できるまなびポイントで還元した。注文者の好みや使いやすさを考える等、商品として人が使うことを想定しながら作製に取り組むようになった子どももいた。

■ キャリア学習

いわて子ども希望基金の助成が決定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために辞退し、予定していた活動を自粛した。感染対策をしながら実施可能な形を検討する準備期間とした。

④ 体験活動事業

■ あそびの HIROBA/楽しく伸び伸び♪親子体験教室

子どもゆめ基金の助成が決定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために辞退し、予定していた活動を自粛した。感染対策をしながら実施可能な形を検討する準備期間とした。

■ あそびの HIROBA チャレンジキャンプ

子どもゆめ基金の助成が決定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために辞退し、予定していた活動を自粛した。感染対策をしながら実施可能な形を検討する準備期間とした。

■ 防災学習（災害時のライフハック）

盛岡市子ども・子育て支援事業の助成が決定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために辞退し、予定していた活動を自粛した。アイーナにご協力いただき、少人数の親子でアイーナの防災への取り組みを見学し取材した。その様子を撮影した動画は、現在編集中であり、随時公開していく予定である。

⑤ 機関紙等発行事業

広報誌の発行は行えなかった。

⑥ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 全般

ホームページ、活動ブログ、LINE公式アカウント、Facebook、Twitter、情報受信希望者へのメール等により情報の発信を行った。

まなびのHIROBAの活動のために毎年行っていたイオン盛岡店黄色いレシートキャンペーン店頭活動であるが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために自粛した。

■ 相談・居場所「あいのま」

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、オンラインでの相談にも対応した。感染拡大期には自粛していた相談・居場所も、検温や手指消毒の設備を揃え、パーティション設置に合わせて定員も定めた上で再開した。世の中全体が自粛する雰囲気にある中でも、新規の相談・居場所の利用が見られた。感染対策が整っており、なおかつデリケートな話もできるとして、ペアレント・トレーニングの自主グループが居場所を利用する例もあった。

■ 支援グッズの販売（居場所付帯事業）

サポートブックや受診メモなどの支援グッズの販売を行った。

■ 助成金等の申請

令和2年度「発達障がいの子の自立のためのキャリア教育事業」が、いわて子ども希望基金に採択されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため辞退した。

令和2年度「LABOXCafe」が、子どもゆめ基金に採択されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため辞退した。

令和2年度「あそびの HIROBA/楽しく伸び伸び♪親子体験教室」が、子どもゆめ基金に採択されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため辞退した。

令和2年度「あそびの HIROBA/楽しく伸び伸び♪親子体験教室 チャレンジキャンプ 日帰り体験」「あそびの HIROBA/楽しく伸び伸び♪親子体験教室 チャレンジキャンプ 宿泊体験」が、子どもゆめ基金に採択されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため辞退した。

令和2年度「災害時の防災ハックを学ぼう！」が、盛岡市子ども・子育て支援事業に採択されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため辞退した。

中小企業庁による「家賃支援給付金」を申請し、交付を受けた。

岩手県による「特定非営利活動法人感染症対策支援事業費補助金」を申請し、交付を受けた。

内閣府による「持続化給付金」を申請し、交付を受けた。

■ 研修等への参加

日時	内容
4月25日 (土)	「新しいスキルを教える～言語行動訓練」(主催: ABAセラピスト研究会 講師: アジア・パシフィック ABA ネットワーク代表理事 田中桜子氏) に、スタッフ・会員(オンライン)が参加した。
6月27日 (土)	「今、発達障害を考える～その人なりの発達と適応の表現として」(主催: 岩手大学大学院教育学研究科 講師: 岩手大学大学院教育学研究科准教授 佐々木全氏) に、会員(オンライン)が参加した。
7月13日 (月)	「災害時を想定した初動対応研修」(主催: いわて NPO 災害支援ネットワーク、NPO 法人いわて連携復興センター 講師: いわて NPO 災害支援ネットワーク 大向昌彦氏) に、スタッフが参加した。

7月24日 (金)	「『発達障がいの理解と支援』について」(主催：NPO 岩手県青少年自立支援センターポランの広場 講師：認定NPO 法人 accommon 代表 成田礎野美氏)において代表が講師を務め、スタッフ・会員が参加した。
9月13日 (日)	「発達障害と家族支援～それぞれの立場からこれからの家族支援について再考する～」(主催：JDDnet ながの鳥取大学院医学系研究科臨床心理学教室教授 講師：井上雅彦先生)に、スタッフ(オンライン)が参加した。
9月25日 (金)	おとなの発達・精神サポーター養成講座 第1回「知っておくと役に立つ制度と基礎知識」(主催：特定非営利活動法人いわてパノラマ福祉館 講師：理事長 高館美保子氏)に、スタッフ、会員(オンライン)が参加した。
9月27日 (日)	子どもの未来支援セミナー「子どもも親も幸せになる 発達に課題がある子の育て方」～すべての保護者に知って頂きたいこと～(主催：岩手県教育委員会 講師：幼児教育専門家・作家 立石美津子氏)に、スタッフ・会員が参加した。
10月15日 (月)	母子保健・思春期保健講演会「非認知能力は生きるチカラを育む」(主催：盛岡市医師会 千田クリニック 千田恵美先生)に、スタッフ(オンライン)が参加した。
10月16日 (金)	おとなの発達・精神サポーター養成講座 第2回「安心して働く(暮らす)ためのサポート」(主催：特定非営利活動法人いわてパノラマ福祉館 講師：精神保健福祉士 新田真紀氏)に、スタッフ(オンライン)が参加した。
10月22日 (木)	おとなの発達・精神サポーター養成講座 第2回「安心して働く(暮らす)ためのサポート」(主催：特定非営利活動法人いわてパノラマ福祉館 講師：精神保健福祉士 新田真紀氏)に会員(オンライン)が参加した。
11月4日 (水)	子どもの心に関する理解啓発講演会 「特性のある子とゲーム・メディア ゲームやネットの魅力・発達障がいとの関係・リテラシー」(主催：鳥取大学医学部附属病院 子どもの心の診療拠点病院推進室 講師：愛知県医療療育総合センター 子どものこころ科部長 吉川徹氏)にスタッフ・会員(オンライン)が参加した。

11月7日 (土)	盛岡ユースセンター不登校対応セミナー「子どもの不登校への向き合い方」(主催:盛岡ユースセンター 講師:心理臨床オフィスすがわら 代表 菅原憲氏)に、会員が参加した。
11月13日 (金)	おとなの発達・精神サポーター養成講座 第3回「サポーターとしての傾聴法」(主催:特定非営利活動法人いわてパノラマ福祉館 講師:相談支援専門員 畠山水脈氏)に、会員が参加した。
11月13日 (金)	「誰でも参加できるSST」(主催:岩手県立大学 講師:岩手県立大学看護学部 佐藤 史教先生)に、スタッフ・会員(オンライン)が参加した。
11月19日 (木)	おとなの発達・精神サポーター養成講座 第3回「サポーターとしての傾聴法」(主催:特定非営利活動法人いわてパノラマ福祉館 相談支援専門員 畠山水脈氏)に、スタッフ(オンライン)が参加した。
11月28日 (水)	ゼロから学ぶ / 発達障害の子のための合理的配慮講座(主催:TEENS TEENS 教育事業担当 飯島さなえ氏)に、スタッフ・会員(オンライン)が参加した。
12月4日 (日)	今、考えよう!コロナ時代の地域防災 「発達障がい者の困難と支援」 「クロスロードゲーム」 (主催:もりおか女性センター NPO 法人レインボーネット相談支援専門員 高屋敷 大助氏、いわて多様性と災害研究会 佐々木 裕子氏)に、スタッフが参加した。
12月6日 (日)	令和2年度岩手県発達障がい者支援センター15周年記念普及啓発研修会 「診察室からみてきたもの ~発達障がい支援のこれまでとこれから~」 当事者インタビュー「当事者の思い~学生時代、就労、子育て、それぞれの立場から~」 (主催:岩手県発達障がい者支援センター 岩手県立療育センター 小児科医 嶋田 泉司先生)に、スタッフ(オンライン)が参加した。
1月29日 (金)	「NPOの出口戦略~組織のこれからを考える~」(主催:いわてNPOソーシャルセクター協議会 講師:認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事 関口宏聡氏)に、スタッフ(オンライン)が参加した。

2月21日 (日)	【出版記念オンラインシンポジウム】ニューロダイバーシティ～人間理解の新視点～（主催：一般社団法人子ども・青少年育成支援協会 講師：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 井出正和氏 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 柏野牧夫氏 一般社団法人子ども・青少年育成支援協会 村中直人氏）に、スタッフ（オンライン）が参加した。
2月23日 (火)	不登校対応セミナー『子どもの不登校への向き合い方 ～家族だからこそできること～』（主催：盛岡ユースセンター 講師：心理臨床オフィス「こもれび」 阿部千賀子先生）に、会員が参加した。
2月25日 (木)	ソーシャルビジネス促進セミナー 社会貢献できるビジネス～カフェ&居酒屋と就労支援（主催：いわてソーシャルビジネスサポートネットワーク 講師：特定非営利活動法人With優 代表 白石祥和氏）に、スタッフ・会員（オンライン）が参加した。
2月25日 (木)	組織マネジメント研修『『新しい時代』の資金調達～オンラインの活用を見据えて』（主催：いわてソーシャルビジネスサポートネットワーク 講師：一般財団法人 ふくしま百年基金 代表理事 山崎庸貴氏）に、スタッフ・会員（オンライン）が参加した。
3月7日 (日)	『東日本大震災10年 過去・現在・未来を共に考える』（主催：星槎大学 エクステンションセンター・附属発達支援臨床センター共催 講師：第1部 講師 筋野哲央氏→講演 第2部 ファシリテーター 千田光久氏→シンポジウム 第3部 進行 檜永卓三氏→ディスカッション）に、スタッフ（オンライン）が参加した。

■ 活動の展示・メディア等掲載

活動の展示は行わなかった。

メディア等への掲載はなかった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	事業費の 金額 (千円)
①座談会事業	集団活動が苦手な子ども の家族や本人を 対象とした、悩みや情 報を共有するための 座談会	4/22 5/27 6/25 8/28 9/24 10/21 11/25 12/10 1/28 2/22	事務所・ オンライ ン	3	盛岡市、 花巻市、 滝沢市、 紫波町の 保護者 延べ84 名	3
	親子夜の TSUDO I	7/3	オンライ ン			
②勉強会事業 ■勉強会・ワ ークショップ	自分のこと知って る?	7/21	事務所・ オンライ ン	3	盛岡市近 郊の保護 者・本 人・支援 者 8名	
	学校との連携を考え るワークショップ	3/10	事務所・ オンライ ン	3	岩手県内 外の保護 者・本 人、支援 者 11名	

②勉強会事業 ■ペアレント・トレーニング	会員向けペアレント・トレーニング (一期全6回)	7/13 8/26 9/14 11/12 11/27 12/16 1/26	事務所・オンライン	2	盛岡市の保護者延べ10名	2
[勉強会事業付帯事業] □出版および出版物販売	「学校・園との連携ガイド」出版・販売	9月～ 随時		3		38
③学習支援事業 ■まなびのHIROBA	会員親子が各家庭で作製した作品を会員内SNSでシェアした。		各家庭	3	会員世帯数(19世帯)	38
[まなびのHIROBA付帯事業] □制作物等販売	子どもたちが作製した販売用の作品を販売した。 ガイドブックを販売した。	随時 随時	事務所等 事務所等	3		3
④体験活動事業 ■防災学習	アイーナの防災への取り組みについて会員親子が見学して取材する様子を撮影した。	10/7	アイーナ	3	会員親子4名	0

⑤機関紙等発行事業	広報誌の発行は行えなかった。					0
⑥その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	情報発信 居場所・相談 助成金申請 研修等への参加	随時	事務所等	3		124 *①～⑤以外の事業費
〔居場所付帯事業〕 <input type="checkbox"/> 支援グッズの製造・販売	サポートブック 受診メモ	随時	事務所	3		1

(2) その他の事業

2020年度は、その他の事業を実施しなかった。